

東光

2011. No.48

東洋英和女学院
高等部同窓会
東光会

〒106-8507
東京都港区六本木5-14-40
TEL (3583) 0722
FAX (3583) 0772
e-mail:
tokokai@toyoeiwa.ac.jp
URL:
http://www.toyoeiwa.ac.jp

英和での一年を振り返って

高等部部长 小林 敏



佐藤順子先生の後任として、高等部部长に就任してからちょうど一年が経過しました。教職員の皆様、生徒の皆さん、保護者の皆様の温かいお支えと励ましをいただきながら、楽しく充実した毎日を過ごすことが出来ました。様々な出会いに満ち、感動と恵みに満ちた一年であったと、本当に感謝しております。その中でも、教え切れないほど多くの機会に、東光会会員の皆様との素晴らしい出会いを経験しました。英和の学校生活は、教科の学習にとどまらず、多彩な課外活動や行事が企画されています。「皆さんとともに体験したこれらの諸行事は、温かい思い出であると同時に、英和の学校

生活の広がりや質の高さを示すものと思われ。人間の可能性をあらゆる側面から開花させようとする本来の理想主義的な生活がそこにはある。」生徒会誌に記した印象です。生徒たちの活動が、多くの卒業生の皆様の熱い思いに支えられているのを実感しています。

ピアノ科や華道・日本舞踊などの課外教室、野尻キャンプ、楓祭へのご支援、特別礼拝へのご奉仕や講演会、また今年から学年全体の行事となった英和茶会もその一つです。先輩が後輩にその良きものを継承する。それが私学の在るべき姿だと思います。その本来の姿が英和教育の大事な根幹をなしています。

高等部での学校生活は、大人に成長するための第一歩です。生徒一人ひとりが神様からいただいた賜物をよりよく成長させるために卒業生の皆様のお力添えをいただきながら、英和教育の良きものを皆様とともに守り育てて行きたいと存じております。

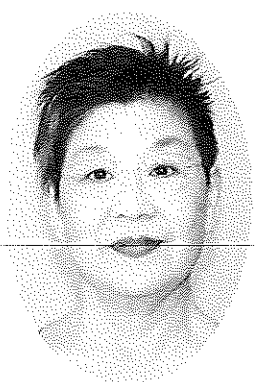
東光会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、なお一層のお支えと励ましを賜りますようお願いいたします。

東日本大震災において被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。平安な日々が一日も早く戻りますよう、心からお祈りしております。

東光会を

お役立てください

二〇一一年度会長 中村 千賀子
(一九六四年 昭39卒 旧姓・藤木)



この一年、東洋英和女学院高等部同窓会「東光会」会長のお役をお預かりいたします。どうぞよろしくお願いいたします。この三月の未曾有の自然災害、それに続く人災で多くの方々がいまだに食事もお住まいもままならず、苦しい生活を続けておられます。心からのお見舞いを申し上げます。どんなに気高い思想をお持ちの

方々にとつても、食事や住まいは大切な健康生活の基本です。健康といえは、「朝食」、「運動」、「節酒」、「禁煙」、「睡眠時間」、「体重」と「間食」の管理が重要とされていますが、それ以上に人間の健康に欠かせないものは、いつでも相談できる仲間たちの集える「場」であるとも言われています。

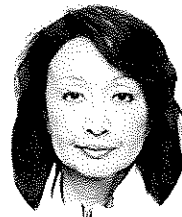
キリスト教の精神を尊び「敬神奉仕」をモットーとする東洋英和女学院で、先生がたの強い意志と愛と勇気を私たちは多感な時代に学びました。この学院を卒業した仲間たちが母校を支え、集いあう「場」として、この「東光会」がそなえられています。皆さまには、大切なお仲間のひとつのお集まりとして、またご自身の健康のためにも、「東光会」をさらにお役立ていただきたいと心から願っております。

総会、東光会の集い、楓祭、追悼記念日礼拝、クリスマス礼拝はもちろん、ホームページも役員一同心をこめて準備させていただきました。みなさまの積極的なご参加と、「東光会」活動へのご要望などもふるってお寄せいただきますよう。最初にお願い申し上げます。一年間「東光会」のために、お力をどうぞお貸しくくださいませ。

特集

英和出身のさわやかなアスリートの方々にご自身の在学時代の思い出や体験等を語っていただきました

馬と共に夢の実現へ



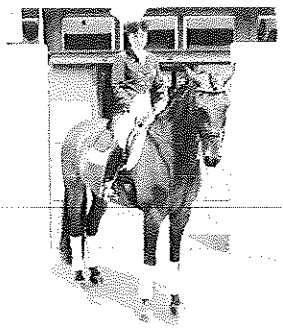
八木三枝子
(旧姓・大野)
一九六九年昭44卒

馬が大好きだった私を、小学部二年生の夏、両親が初めて乗馬クラブへ連れて行ってくれた。台風後の馬場は田んぼ状態で、私を乗せたポニーはあつという間に私を振り落とし、頭の中から泥まみれになったが、その日から毎日のように馬に乗り始めた。私の夢は大好きな馬達に囲まれ毎日馬に乗り、将来はオリンピック選手になるというものだった。その夢が五十年後に実現するなど未だに信じ難い事である。

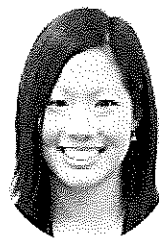
中学部三年生までは日本の馬術界の大先生の元、特別な指導を受けたが、先生が亡くなられたと同時に私も馬から遠ざかり、再び手綱をとったのは二十三年間のブランクの後、三十八才の時だった。初めは趣味程度だったが、その後世界選手権を観



戦し、本物の馬場馬術を目指し自分を試してみたいと決心し英国に拠点を置き、基礎から学び直し、日欧両方で訓練を行った。東洋英和で学んだ英語がこの時大きな力となった事を特筆しておきたい。当時二人の子供達も小学校高学年になっていたものの、家庭生活をおろそかにせず、しかも家業にも身を置いていたので選手活動に集中するのは大変だった。いつも前向きに物事に臨み、失敗してもその後の取り組み方次第で成功へ導ける事、ベストをつくし最後まであきらめない強さをもつ事、いざと言う時も心の平常心を保てる集中力をもつ事等、大切な心の強さを得ることが出来た事と共に、弱いものへの心遣いや常におごらず謙虚に感謝の念を忘れないで毎日を過ごす心の安らぎを、馬を通じて学ぶ事が出来た。



一九九四年に広島アジア大会の馬場馬術競技で日本人初の個人・団体金メダルを獲得し、同年から全日本馬術選手権を十連覇(日本初)し、海外でも数々の国際大会に入賞し、世界選手権そして日本人初のワールドカップファイナル出場を果たし二〇〇八年の北京オリンピックに出場する事が出来た。全日本選手権は更に二勝を加え、現在日本最多の十二勝を達成した。昨年九月には米国ケンタッキーで行なわれた世界選手権に出場した。日の丸を胸に日本代表として競技に臨む時、そこにはいつもパートナーの愛馬がいて私に勇気と安らぎを与えてくれる。男女の差やプロ・アマチュアの区別のないこの競技は、人馬一体(心)が要である。思いやり尊重し合い勇気と強い信念をもつてベストをつくす。人馬が美しいハーモニーを創り出せた時、それは芸術の域に入り人々に感動を与える事ができる。私は家族や友人、スタッフに感謝しつつ、今後もロン



森山 瞳
二〇〇八年平20卒

ドンオリンピックヘチャレンジしたいと思っっている。

東洋英和卒・ライフセーバー

私は幼いころに川で溺れたことをきっかけに、高等部までの十四年間競泳を続けてきました。小学部時代はたまに練習をさぼって放課後校庭で遊んでいたこともありましたが、それが良いリフレッシュになっていったのかなあと思います。中学部・高等部時代は朝練習をしてから学校に行くこともあり、学校が終わるとまた練習に向かう生活でした。英和には水泳部がなく、スポーツ系の部活動を羨ましく思うこともありましたが、悩んでいるときはみんなが親身になって話を聞いてくれ、大会の前にはお祈りをしてくれたこともありました。また、オーバートレーニングで故障をして日常生活にも支障があった時、相談に乗ってくれたさつた体育の中村先生には本当に感謝しています。きつと学生生活中に泣いたのは卒業式とあの時だけだったと思います。最初で最後のインターハイ

にも中村先生に引率していただけたことは、競泳人生で一番の思い出です。そんな私は現在、ライフセービング活動を行っています。ライフセービングはまだマイナースポーツなため、あまり知られていませんが、私がライフセービングを始めたきっかけのひとつに「あなたの愛する人を守れますか？」という標語があります。いままで習ってきた競泳経験を誰かのために活かしたいという気持ちから、青山学院大学に入学後、ライフセービングクラブを立ち上げました。クラブは設立してまだ三年目で、メンバーも足りないのが現状です。そのため練習環境を確保するのが難しく、現在はさまざまな大学やチームと一緒に練習させていただいています。英和在学中も、水泳部がないのにも関わらず大会に出場し、先生方に地方まで引率していただいた事もありました。現在も決して練習環境に恵まれてはいませんが、そうした経験をしたからこそ感謝の気持ちで取り組ませていただいています。昨年はライフセービング全日本選手権大会において優勝することが出来ました。また、今年もニュージーランドで行われる世界大会も控えています。いま考えると英和での学生生活で、やりたい事には何でも

挑戦できる環境を整えていただけたと思っています。応援して下さる人のために感謝の気持ちを忘れず、また日本の海から水難事故が少しでもなくなるよう、これからも謙虚に努力して参りたいと思います。



生涯スポーツ

バスケットボール



鷺田庸子
(旧姓・高橋)
一九七一年昭46卒

中学部に入学した私は、バスケットボール部に入部しました。故佐々木先生、三谷先生(旧姓松本先生)の

厳しいご指導を受けながら、次第にバスケットボールの楽しさにのめり込んでいき、現在にいたっています。



中学部では中二の新人戦で東京都決勝までいき、中三は都大会準決勝。高一ではインターハイに行き、関東大会にも二度出場と、充実した中高生活を送りました。

そして十年後、第二のバスケット生活が始まりました。下の娘が小学部に入学したのを機に、世田谷厚生年金スポーツセンターで行われたミニバスケット教室に入ることになりました。同じ場所で行われていた家庭婦人バスケット緑地クラブにさそわれていただいたのがきっかけで、私も週に一回の練習に参加し、もう二十五年以上このチームに所属しています。三十代、四十代はママさんバスケット全国大会に出場してプレーをしました。現在はアシスタントコーチとして選手たちのお世話をしています。

緑地クラブは二十代から五十代の

三十人以上のメンバーからなり、一般、シニアの部で毎年東京都の予選を勝ち抜いて、全国各地で開催される家庭婦人バスケットボール交歓大会、マスターズスポーツ大会などに出場しています。メンバーはそれぞれ高校、大学で、あるいは実業団でバスケットをしてきた人たちですが、今はこのチームで勝ち上がるために、ひとつひとつそれぞれの役割を果たしています。私たち現役引退組はコーチ・マネージャー等として試合のときはベンチに入りますが、気分は現役のまま。まるで自分がプレーしているかのように、声援を送り楽しんでいきます。日頃の練習では、ゲームの審判をしたり、選手のことまで達のお世話をします。ひとつの目標に向かって広い年齢層のメンバーが、キャプテンを中心にとっても良くまとまっ



た、自慢のチームです。

幼稚園から英和で育ってきた私にとって、英和の友人はかけがえのない存在ですが、週一回二十年以上ともなブレージングしてきた緑地クラブのメンバーも、私にとって英和の友人と同じくらい大切な存在となっていました。そして、バスケットと同じくらい大好きなお菓子作り。好きが高じて教えたり、ご注文をいただくまでになりました。バスケットとお菓子作りの二本立てで、もうしばらくは楽しく過ごせそうです。

日本一を目指して



須崎 杏

二〇〇六年 平18卒

私は現在、群馬銀行という企業で午前中は銀行員として勤務する傍ら、午後は九人制バレーボールの選手として毎日バレーボールに励んでいます。十二年間の英和の生活では本当のびのびと、好きな事を自分らしくやることを学ばせてもらいました。休み時間ともなれば有り余るパワーを発散すべく学校中を走り回り、それでも尽きず、多くの先生方を泣かせるような生徒でした。その私を中

学で二年間担任をしてくださった石澤先生の教えもあり、そのパワーをリーダーシップという形で発揮する様になり、高二の時には体育祭実行委員長として企画、運営をしました。残念ながら雨天の為延期、中止となり六本木校舎で体育祭を行う初めての委員長となりました。それがよい経験になったと思います。



また、中三から高三まで野尻キャンパスに毎年通い、生涯付き合いたい学年を越えた沢山の友人と出会いました。野尻で得たものは言葉や理屈でなく、相手への思いやりや、助け合う絆の大切さを学ぶことが出来ました。バレーボールを本格的に始めたのは中三の冬からで当時バレー部の顧問だった先生の熱心な誘いからでした。英和は弱小チームではありましたが、仲間と真剣にバレーと向き合った日々が今の私の原点です。両親から与えられた恵まれた体型や多くの偶然や出会いが重なり、大学は日本

の中でも強豪で歴史のある日本体育大学にスポーツ推薦入学しました。全国でも選りすぐりの超精鋭たちとの差や、環境の劇的な変化に幾度となく挫折しそうになりました。しかし、そんな時も英和の友人の我が道を突き進む強さや励まし、石澤先生の「苦しい時は上り坂」という言葉に勇気づけられ、人とは違う経緯を経てアスリートとして厳しい勝負の世界を生き抜いてきました。



教育実習生として英和に戻った時、英和のすばらしさを改めて思い知らされました。生徒の笑顔が絶えず、先生方も一生懸命で、思いやりに溢れている。そんな学校で育った事を本当に誇りに思いました。決して一流のスポーツ選手になるうえで良い環境とはいえませんが、一つの物事にだけ取り組む以上に沢山の経験を積み、広い視野で物事を捉えられるという英和の生活が今に生きて

いると思います。

今、私は日本一になるために毎日練習漬けの日々です。精神的にも肉体的にも挫けそうにもなりますが、自分で決めた自分の道を、自分らしく突き進む英和生としてのプライドを持ち、言い訳をせず、これからも全国制覇という目標にむかってひたすら突き進んでいこうと思います。

英和で過ごした

スポーツの日々



富樫 恵実

(旧姓・宮崎)

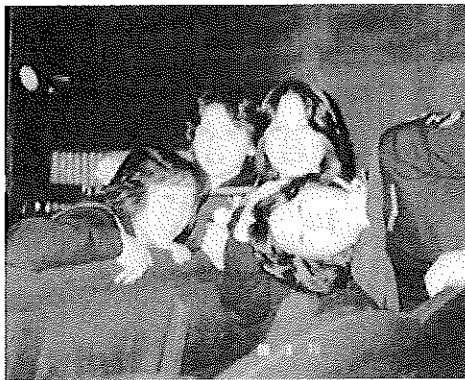
一九八〇年 昭55卒

私は現在横浜のキリスト教主義の私立の中高一貫校で保健体育の教員をしています。早いもので二十五年がたちました。今私がこの仕事を続けている原点は、やはり中高の六年間の生活にあったのだと思います。中高での生活はクラブ活動、体育の授業、昼休みの運動、球技大会、野尻湖でのキャンプ：と実はスポーツ中心の日々でした。クラブは卓球部に所属していましたが、練習メニューを考え、勝つために、上達するため、悩み工夫をしていたところが大変懐かしく思われます。このクラブ活

動で得た経験は今でも宝物となっております。私の在学当時体育館はバレーコートが一面ぎりぎりの広さのものでした。床の雑巾がけをしてから始まった授業は今では楽しい思い出となっております。バレー、バスケット、ドミントン、テニス、卓球、ダンス、跳び箱と様々なスポーツをさせていただきました。毎年四月にはスポーツテストがあり、自分の体力の向上を知るうえで大変励みになりました。特に一〇〇メートル持久走は燃えたものです。今、体育館が建つているところは、バレーコート二面、テニスコート二面、バスケットコート一面があるグラウンドでした。バレー部、テニス部が真っ黒に日焼けしながら練習をしていた姿が印象的で、特にバレーボール部は、多くの学校が体育館で練習をしている中、グラウンドで練習をしている様子はたたくましく、たのもしく感じました。昼休みは毎日のように球技をしました。特にバレーボールをした時のことは印象に残っています。様々な運動部の人が集まり、上級生も下級生も一緒にになって昼休み終了ぎりぎりまでバレーボールの試合をしました。球技大会ではバスケットのチームを作り、朝公園に集まり秘密練習をしました、平泳ぎを覚えたのは、

野尻湖での水泳実習です。野尻湖のキャンプでは泳いだり、カッターやボートを漕いだりとても楽しいものでした。クロールを二十五メートル泳ぐのがやっとだった私が体育大学で三キロの遠泳ができるまでになったのはこのキャンプでの経験が大きかったと思います。

今振り返ってみますと、自由のびのびと過ごさせていただけただけなこと、先生方が広い心で見守ってくれたこと、また素晴らしい仲間、学年の中で過ごさせていただいたことが私にとっては本当に大きいことだと感じています。自主性をもって積極的に物事に臨むことを学びました。本当に感謝しております。まずは英和の繁栄と皆様のご活躍を心からお祈り申し上げます。



東光会のつどい報告



昨年九月十八日「東光会のつどい」クラス幹事と会員の懇親会」が中高部集会室に於いて開かれ、猛暑の中約七十名が集いました。

鳥羽会長の挨拶、役員・事務職員紹介に続き、中村副会長が活動報告の中で「同窓会こそ、その学校の教育方針の評価の一つとして大切にしたい」（引用・村上陽一郎大学学長）と話し、当番学年を確認して役員選出をお願いしました。

講師に前高等部部長佐藤順子先生をお迎えし「東洋英和の歴史に学ぶ―建学の精神に生きること」と題し、講演していただきました。

初代ミス・カートメルは、カナダ婦人ミッシェロンが日本へ派遣する婦人宣教師を選出する際「私がここにいます。私をお遣わしてください。」と覚悟なさった事、ミセス・ラージは寄宿舎で最愛の夫を惨殺されながらも犯人の罪を許した事、そしてミ

ス・ブラックモアは建築中の新校舎が台風によって二度も倒され悲嘆にくれてしまった時に「雨の後は虹が出ます。恵みの虹を信じましょう。」と皆を励ました事等、百二十余年の歴史の中で指針を与えてくれる建学の理念と、学校の歴史の担い手としてそれを実践し神様と共に生きられた宣教師の先生方のエピソードを中心に、数々のお話を伺うことができました。

その後は歓談し、英和グッズや野尻基金の会等の販売も好評を得ました。最後に校歌を歌い、英和への絆を深める会は閉会となりました。

ご出席の皆様には当日の感想や東光会の活動に関するアンケートを記入していただきました。今後の参考にさせていただきます。



学年会だより

ロスアンゼルスのかなたより

一九四五年 昭20年

菊池秀実
(旧姓・小林)

「光陰矢のごとし」私がロスアンゼルスに移り住んでからももう五十五年になりました。当初はこのロスアンゼルス近郊に英和卒の方がいらっしやるとは知らずに居りました。或る日思いがけずクラスで一緒でした小林晴子ちゃんからお電話を頂きそれがきっかけでロスアンゼルスにも同窓会が発足いたしました。初めての集会は晴子ちゃんのお宅で五、六人の英和卒が少人数でありながら英和時代の話を通じる幸せを久しぶりて楽しみました。その後、年々人数も増え続け、今では常時二十から三十名の会員で毎年春に同窓会をするようになりました。年齢の差も大きく離れて、上は竹本芳子さん(一九三五年卒)下は小林郁子さん(一九七九年卒)となっております。毎年集まるようになりましてから三十五年ほどになりますでしょうか、あまり昔の事ははつきりしないのですが、晴子ちゃんが五年程で日本にお帰りになってからもせっかくの同窓会の火を絶やさぬようにと今も続けて来ています。長年続いていますので、まるで家族のように親しくなります。平井三姉妹は、毎年遠くサンディエゴから車で二時間かけて来てくださっ

ていますが、末の弟さんが同窓会のご縁で一九五三年卒業のラニー馬さんとご結婚なされ、平井姉妹は四姉妹に大きくなりました。正田智恵子さんは比屋根先生の妹さんで、とてもお話が面白く同窓会の人気のトップでした。今は敬老ナーシングホームにいらっしやいますが、いつも食前のお祈りをしてくださり、ピアノをひいてくださって、校歌を合唱できました。

年に一度の同窓会は楽しく、終わってから外で名残を惜しんでいつまでも立ち話ができずにと散会となるのでした。これからも英和の精神を忘れる事無く、東光会ロスアンゼルス支部を今まで通りの明るく楽しい会として続けていきたいと願っています。



楓68KANREKIを祝う学年会

一九六八年 昭43年

藤村真弓
(旧姓・鷺田)

いつもは四年ごとに行っていた学年会を、同級生全員が還暦を迎えた今年に開催しました。前回幹事から引継ぎ後、一年半余を準備にかけました。

特に今回は還暦記念の学年会ということで、できるだけたくさんの方に参加していただくことができるように、かなり早い時期に予告のおたよりを出して、予定に入れていただくようにしました。その結果、外国に住んでいらっしやる方々も都合をつけて三名出席してくださいました。今回の会場は、英和の向かい側の国際文化会館にしました。そして、当日のカメラマンとおみやげのお菓子を、同級生のお嬢さんが担当して下さり「親子協力」の学年会となりました。先生四名と八十三名の参加でした。

当日は、あいにくのお天気で、雨が降りそうだったので開会前に全員で集合写真を撮りました。緑のきれいなお庭での写真が撮れました。第一部では同級生の中ですでに天国へ行かれた八名の方たちと、三名の先生方を覚えて祈りをささげ、献杯をいたしました。歓談の時間に入ってから、三名の同級生が交代で、お得意のピアノの生演奏をしてください、素敵な演奏と、おいしい食事で会場内には和やかで楽しい時間が流れていました。



第二部では、ご出席いただいた先方から、口々に「一〇代の印象が強いみなさんが、もう還暦なんて!」と感慨深げに言われました。そしてひさしぶりに学年会に参加してくださった外国在住の足立さん、中谷さん、中川さんからそれぞれにお住まいの国の様子や生活ぶりをお話いただきました。その合間に、船田さんのピアノ演奏や原さんのジャズボーカーを聞かせていただき、楽しい時間をすごしました。最後になつかしい校歌を斉唱し、次回の再会を約束して会を閉じました。

三十五年目の楓祭

一九七七年 昭52卒

香川 葉子
(旧姓・奥裕)

昨年の十月十一日は、初夏のようなさわやかなお天気。四谷のアートギャラリー、アートコンプレックスカフェが卒業三十五年目の学年会会場です。

卒業してからあつという間の三十五年。二年ごとにまめに学年会を開いている私たちですが、それでも卒業以来会えないでいるあの顔や、遠くに住んで近況がわからない彼女のこと、五十歳を過ぎて今までよりも気になります。そんな話をしているうちに「学年会から遠ざかっている人も来てくれるといいな」「三十五年目だもの、記憶に残る会にしたいね」などと幹事の夢が広がってきました。

そこで幹事たちが考えた今回のテーマは「三十五年目の楓祭」。みんなに楓祭のときのことを思い出してもらって、全員参加で会を手作りする同窓会が目標です。そこで私たちの作戦は

- ★半年前からメールや手紙で出席を呼びかける
- ★多くの人に今の自分を発表してもらう
- ★英和時代を振り返る映像
- ★全員参加の合唱会
- ★卒業三十五年の記念品
- ★出席できなかった人にもお楽しみを(一言文集作りとネット上での写真公開)というものでした。



みなさん、本当によく協力してくれました。英和で教鞭をとる友は今の英和生の様子を発表、趣味をもつ人は作品や写真を展示。自分の仕事を紹介したり、手作りお菓子の差し入れがあつたり、欠席者のビデオ参加やコーラスの発表など。「三十五年目の楓祭」のテーマにふさわしい会になりました。

当日の出席者は七十二名。秋葉、阿久澤、雨宮、岡本、沓澤、黒川、佐藤道子、星野、各先生方のご出席も頂きました。最後は愛のわざの合唱で大団円。残念だったのは、時間が短くて大忙しだったこと。丸一日、学年会やついてもよかつたなあ、なんてのんきな反省です。二年後もまた、元気でお会いしましょうね!

成人式を迎えて

二〇〇九年 平21卒

平塚 綾乃

二〇〇九年の春、私たちは長年過ごした東洋英和を卒業し新しい世界へと歩きました。外の世界に出ることのできるいろいろなことを日々学んでいる私たちも、今年成人式を無事迎えることができました。例年同様ANA インターコンチネンタルホテル東京にて「東洋英和女学院成人を祝う会」を開催いたしました。今年も例年以上に保護者の方々が参加してくださったおかげで計二八〇名と多くの方々盛大に成人を祝うことができました。

今では生活から離れてしまっている礼拝から式は始まり、懐かしい讃美歌を歌い、聖書を読み、お祈りをしてみんなで礼拝をもてることを感謝しました。その後、先生方からお祝いの言葉をいただき、学年代表が東洋英和への感謝を述べ、保護者の方々に無事成人式を迎えることができましたことに感謝の気持ちを伝えました。最後に校歌を歌い東洋英和の卒業生であるということ改めて感じた時、これからは卒業生として恥ずかしくない行動をしなければと、身の引き締まる思いがしました。式の後、全員成人になったお祝いにシャンパンで乾杯を行い、喜びあいました。とても楽しく、東洋英和の仲間と久しぶりに会うことができ嬉しく思いました。同時に、それぞれ未来のために頑張っているけれども、東洋英和から学んだ「敬神奉仕」の精



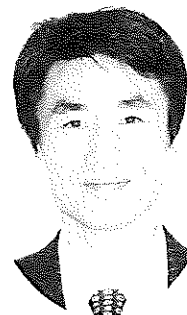
神や人を思いやる心が今の私たちに力を与え、内面も外見も美しい女性になれるようはたらいていると強く感じ、東洋英和での時間を誇りに思いました。

このように盛大に「成人を祝う会」を開催できたことを皆さんに感謝し、成人として社会に貢献できる強く美しい女性になれるよう努力していきたいと思えます。それでは、ごきげんよう。

「東光・特集」のテーマを募集しております。
また各方面で活躍中の卒業生をご存知の方はご紹介ください。

学院近況

高等部教頭 石澤友康



東日本大震災におきまして、東光会会員の皆様およびご家族ご親戚に被災された方がおいででしたら、心よりお見舞い申し上げます。

今春の卒業生一八二名の進学状況は別表の通りとなりました。震災の影響で卒業式を延期し、謝恩会も校内で簡素に行うという形になりましたが、全員に証書が手渡され無事卒業できた事が本場に有り難い事と実感しております。

地震発生当日の三月十一日。英和では期末試験後のクラブ活動日でした。すぐに生徒を集合させ点呼し、今後の対策が練られました。首都圏の交通機関が全面停止し、校内での宿泊を余儀なくされました。非常食を食べ、クラブ毎に宿泊場所を割り振り、不自由ではありましたが、約二八〇名の生徒は不平不満も言わず冷静に行

*指定校推薦合格者は、高三合格者の人数に含む。

学校名	学部名	合格者				入学者				
		高	三	卒業生	合計	高	三	指定校推薦	卒業生	合計
	松戸歯	1		1	1	1				1
	生産工	1		1	1	1				1
	生物資源	2		2						
	理工	3	1	4						
日本医科	医		3	3					1	1
日本歯科	生命歯	2		2	1					1
日本獣医生命	応用生命	2		2	1					1
日本女子	人間社会	5	1	6	2				1	3
	文	10		10	1					1
	理	1		1						
フェリス女	文	1		1						
文化女子	服装	1		1	1					1
法政	キャリア	2		2	1					1
	グローバ		1	1						
	デザイン	1		1						
	経営	2		2	1					1
	経済	1		1						
	現代福祉	2		2						
	国際文化		1	1						
	社会	3		3						
	法	2		2	1					1
	理工	1	1	2						
星薬科	薬	1		1	1					1
武蔵野	人間関係		1	1					1	1
武蔵野音楽	音楽	3		3	2					2
武蔵野美術	造形	7	3	10	1				1	2
明治	経営	2	1	3						
	国際日本	5		5	1					1
	情報コミ	2	1	3						
	政治経済	6	2	8	1					1
	農	1	1	2	1					1
	文	6		6	1					1
	法	3	1	4						
明治学院	経済	3		3	1					1
	国際	2		2	1					1
	社会	3		3						
	心理	4		4						
	文	6		6						
	法	7	2	9	3				1	4
目白	経営	1		1						
横浜薬科	薬	1		1						
酪農学園	獣医	1		1	1					1
立教	コミュニ	4		4	4					4
	異文化コ	3		3						
	観光	3		3	2					2
	経営	2		2	1					1
	経済	4	1	5						
	現代心理	5		5	2					2
	社会	1		1						
	文	8		8	3				1	3
	法	6		6	3				1	3
	仏教		1	1						
早稲田	スポーツ	2		2	1					1
	基幹理工	1		1	1				1	1
	教育	6	2	8	2				1	3
	国際教養	7	1	8	3				1	4

学校名	学部名	合格者				入学者				
		高	三	卒業生	合計	高	三	指定校推薦	卒業生	合計
	商	1		1	2					
	人間科学	3		3	3	1				1
	政治経済	2		2						
	先進理工			1	1					
	創造理工	1	1	2	1					1
	文	5		5	2					2
	文化構想	3		3	1	1				1
	法	2		2	1					1

学校名	学部名	合格者				入学者				
		高	三	卒業生	合計	高	三	院内推薦	卒業生	合計
東洋英和女学院	国際社会	32		32	14	10				14
	人間科学	21		21	9	9				9

短期大学名	学部名	合格者				入学者				
		高	三	卒業生	合計	高	三	指定校推薦	卒業生	合計
青山学院女子短期				1	1					
桐朋学園芸術短期				1	1				1	1

留学・その他	学部名	合格者				入学者				
		高	三	卒業生	合計	高	三	指定校推薦	卒業生	合計
Carleto		1		1	1					1
服部栄養専門学校	栄養			1	1				1	1
国際動物専門学校	動物	1		1						
東京ビジュアルアーツ	声優俳優	1		1						
舞台芸術学院		1		1	1					1

受験準備	30
------	----

学院近況

動し無事に過ごす事ができました。その間も保護者の引取は続行し、教職員で夜通し対応に当たりました。翌朝、交通機関も回復し全生徒の帰宅が完了しました。新宿御苑茶室では高二の「英和茶会」が卒業生有志の方々の厚志によって行われていましたが、生徒引率とも都立新宿高校に宿泊。慶応藤沢キャンパスのロボットコンテスト参加者六名も引率と共にキャンパスに留まり無事でした。学校ではその間保護者へ緊急メールで時々刻々の状況を配信。その後ホームページにも今後の予定を載せ、担任から在校生宅へ電話で状況を聞くなどを行い、自宅待機の三月を乗り切り、四月より無事に学校再開が果たせました。

地震に際し様々な方々の支援が身に沁みました。当日、学校に偶々寄っていた卒業生達が地震で宿泊という事態に巻き込まれましたが、夜通し教師と生徒のサポートに大活躍してくれました。その卒業生曰く「母から、帰らずに英和のために奉仕して来なさい、と言われています。」この言葉には胸が打たれ、またこのような卒業生を出せる学校であることに誇りを感じ勇気を貰いました。また、茶会の帰りに帰宅困難になった英和生を車でピックアップし、何時間も

2011年春の進路状況

2011. 4.18現在

東洋英和女学院高等部 2011年3月卒業生 (182名)

学校名	学部名	合格者				入学者			
		高	三	卒業生	合計	高	三	卒業生	合計
金沢	理工学域	1		1	1			1	1
筑波	医		1	1				1	1
東京	文科二類	1		1	1			1	1
	理科二類	1		1	1			1	1
東京海洋	海洋科学	1		1	1			1	1
東京外国語	外国語	1	1	2	1			1	2
東京学芸	教育	1		1	1			1	1
東京藝術	美術		1	1				1	1
富山	医		1	1				1	1
新潟	医		1	1				1	1
一橋	法		1	1				1	1
防衛医科大学校			1	1				1	1
青山学院	教育人間	2		2					
	経営	2		2					
	経済	5		5	3	1		3	3
	国際政経	1		1					
	総合文化	2	1	3					
	文	7	2	9				1	1
	法	2		2					
	理工	1	1	2					
大妻女子	比較文化	2		2					
	文	1		1					
学習院	経済	1		1					
	文	10		10	1	1		1	1
	法	3		3					
学習院女子	国際文化	6		6	1			1	1
神奈川	理	1		1					
川崎医科	医		1	1				1	1
北里	薬	2		2	2	2		2	2
	理	1	1	2					
杏林	医		1	1					
	保健	1		1					
慶応義塾	環境情報	1		1					
	看護医療		1	1					
	経済	2		2	1			1	1
	商	4	1	5	4	2		4	4
	文	10		10	8			8	8
	法	5	1	6	5	1		5	5
	理工	2	1	3	2	2		2	2
國學院	神道文化		1	1				1	1
	文	1		1					
国際基督教	教養	3	1	4	2	1		2	2
国士館	文		1	1				1	1
駒澤	グローバ		1	1					
	文	2		2					
	法	1		1					
実践女子	文	1		1					
芝浦工業	シス理工	1		1					
	工	2	1	3	1			1	1
上智大	外国語	4		4					
	経済	2		2	2			2	2
	総合人間	3		3	1			1	1
	文	6		6	4	1		4	4
	法	7	1	8	3	1		3	3
	理工	1		1					
昭和	医	1		1	1			1	1
	歯	1		1					
	薬	3	2	5	1			1	2
昭和音楽	音楽	1		1	1			1	1
昭和女子	人間文化	1		1					
昭和薬科	薬		1	1				1	1
白百合女子	文	3		3	1			1	1
成蹊	経済	2		2					
	文	5		5	1			1	1
	法	4		4	1			1	1
	理工	2		2					
	文芸	2	1	3				1	1
	法	1		1					
聖心女子	文	4		4	1			1	1
聖マリアンナ医科大学	医		2	2					
専修	ネットワ	2		2					
	商	1		1	1			1	1
	文	1		1					
	法		2	2				1	1
洗足学園音楽	音楽	1		1	1			1	1
多摩美術	美術	6	3	9	2			1	3
千葉工業	工	1		1					
中央	文	1		1					
	法	1	1	2					
	理工	2		2	1	1		1	1
津田塾	学芸	6	1	7	3	1		3	3
鶴見	歯	1		1					
東京医科	医	1	1	2	1			1	1
東京音楽	音楽	2	1	3				1	1
東京歯科	歯	1	1	2	1			1	2
東京慈恵会医科	医		1	1				1	1
東京女子	現代教養	15		15	3			3	3
東京女子医科	医		3	3					
東京造形	造形	1		1					
東京電機	未来科学	1		1	1			1	1
東京都市	環境情報	1		1					
	工	1		1					
東京農業	国際食料	3		3					
	農	1		1	1			1	1
東京薬科	薬	1	2	3					
東京理科	工	2		2	1			1	1
	薬	1		1					
	理工	3	1	4					
同志社	経済	1		1	1			1	1
東邦	医	1		1	1			1	1
	薬		3	3					
東邦音楽	音楽	1		1	1			1	1
桐朋学園	音楽	2	1	3	2			1	3
東洋	国際地域	1		1					
	社会	2		2					
獨協	国際教養	2		2					
	法		1	1					
日本	医		1	1				1	1
	芸術		1	1					
	歯	1		1					
	商		1	1					

かけて送ってくださった卒業生。電車の止まった大江戸線のホームで困り果てていた小学部生にずっと付き添ってくれた卒業生。宿泊していた学校へも茶会へも差し入れなどを届けてくれた何名もの保護者の方々。大きな困難の場面でこそ人物の本質が現



れるといいますが、英和を取り巻く人々は皆「敬神奉仕」の精神が宿っていることと確信することができました。

学院人事

退職
今春の教員異動を報告します。

今田真紀先生(数学)

一九九〇年より十一年間数学の専任やテニス部剣道部顧問としてお勤めいただきました。ご出産を機にご退職となりました。卒業生でもあるので、また交わりの機会が持てることと思います。

大日向安子先生(英語)

二〇〇三年より英語の専任としてご指導していただきました。二〇〇六年には高三卒業担任もしていただき、テニス部の顧問としてもご指導いただきました。今後の先生のご健勝を願っております。

新任

大崎光恵先生(国語)

大阪女学院中高校で専任としてお勤めされていた先生で、今年度東京への転居に合わせて東洋英和への就任が決まりました。ご経験を活かしての活躍に期待しています。

加藤講太郎先生(数学)

自由学園中高出身で多彩な活動をなさってきた先生です。剣道三段の腕前を剣道部顧問として活かしていただきたく願っています。

玉栄清華先生(数学)

沖繩出身で元気ハツラツの先生です。大学は奈良、就任は東京と日本列島を北上中。英和に新しい風を吹き込んでくれることでしょう。

平成二十三年度中高部行事予定

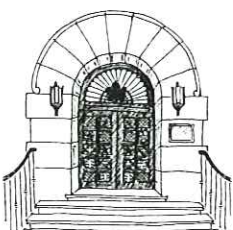
4月	入学式・始業式
4月	中一オリエンテーション
5月	高三修養会
5月	高二修学旅行
6月	I学期中間試験
6月	花の日礼拝・訪問
6月	高一カンファレンス
6月	中・合唱コンクール
6月	高・球技会
7・8月	中二夏期学校・キャンプ
7・8月	カナダ語学研修旅行
7・8月	修養会・訓練キャンプ
9月	中三学力テスト
9月	第一回学校説明会
10月	I学期期末試験
10月	追悼記念日礼拝
10月	体育祭
10月	楓祭
11月	創立記念日
11月	中・球技会
11月	第二回学校説明会
12月	II学期中間(高三期末)試験
12月	クリスマス音楽会
12月	クリスマス礼拝
2月	中学部入学試験(二回)
2月	II学期期末試験
3月	中高卒業式・高卒業礼拝
3月	スキー教室
3月	短期留学

総会報告

去る六月四日土曜日、二〇一一年度東洋英和女学院高等部同窓会東光会総会が、午後十二時三十分より中高部小講堂にて開催されました。出席者は七十八名でした。

開会祈祷の後、鳥羽郁子前年度会長の挨拶、二〇一〇年度活動報告、同決算報告及び監査報告があり、いずれも承認されました。二〇一〇年度は特に三月の東日本大震災の影響で、東光会入会式が中止となりました。入会記念品は卒業式の日に配布していただきました。新会員の皆様の新しい出発を心からお祝いするとともに、東光会の行事への参加をお待ちしております。

その後、中村千賀子新会長の挨拶、二〇一一年度活動予定、同予算案の報告と続き、今年度役員及び事務職員の紹介をもって閉会、新マーガレット・クレイグ記念講堂にて、学院全体同窓会が開かれました。なお、当日のご意見は今後の検討課題とさせていただきます。



2010年度収支計算書 (2010年4月1日～2011年3月31日)
2011年度予算額 (2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位:円)

項 目		2010年度決算額	2011年度予算額
収 入 の 部	1 入 会 金	2,196,000	2,172,000
	2 年 会 費	6,212,600	7,000,000
	3 受 取 利 息	72,459	70,000
	4 業 務 受 託 費	400,000	400,000
	5 寄 付 金	215,659	0
	6 積 立 金 取 崩	0	400,000
	7 前 期 繰 越 金	1,047,306	549,506
	収 入 合 計	10,144,024	10,591,506

支 出 の 部	8 同 窓 会 分 担 金	1,876,600	1,801,400	
	9 人 件 費	2,370,505	2,200,000	
	10 通 信 費	1,978,993	2,000,000	
	11 印 刷 製 本 費	1,030,309	1,300,000	
	12 渉 外 費	8,400	70,000	
	13 会 議 費	13,860	10,000	
	14 催 事 費	618,417	400,000	
	15 慶 弔 費	178,069	320,000	
	16 水 光 熱 費	95,638	100,000	
	17 營 繕 費	67,153	100,000	
	18 備 品 費	171,636	400,000	
	19 保 守 ・ 管 理 費	110,250	670,000	
	20 消 耗 品 費	36,028	50,000	
	21 旅 費 交 通 費	475,780	500,000	
	22 顧 問 料	99,750	100,000	
	23 保 険 料	57,930	100,000	
	24 電 話 料	45,655	50,000	
	25 雑 費	24,545	30,000	
	26 予 備 費	0	50,000	
	27 積 立 金 繰 入	0	0	
	28 G.H.T.積立繰入	300,000	0	
	29 退職給付金引当金	35,000	30,000	
	30 次 年 度 繰 越	549,506	310,106	
		支 出 合 計	10,144,024	10,591,506

G.H.T.=ガネットハウス鳥居坂

2010年度会計収支について、監査の結果上記の通り相違ありません

監事 山北千世 鈴木淳子

2010年度 活動報告

詳細は東光会ホームページに掲載致しました。
どうぞご参照下さいませ。

2011年度 活動予定

- 2011年
6月4日 東光会総会 (中高部小講堂)
7月 “東光” 48号発行
100歳の学年に記念品発送
9月 敬老会員プレゼント発送 (楓マーク入りガーゼ手拭い)
10月1日 学院主催追悼記念日礼拝出席・お茶の会手伝い (新マーガレット・クレイグ記念講堂及び中高部集会室)
10月21・22日 中高部“楓祭”に「東光会の部屋」開設
11月5日 東光会のつどい
12月3日 同窓会主催クリスマス礼拝出席・お茶の会手伝い (六本木校他)
旧宣教師の先生へクリスマスカード発送
2012年
3月15日 高等部卒業生 東光会入会式 (新マーガレット・クレイグ記念講堂)
*役員会 定例役員会毎月一回開催 (8月を除く)


「寄付者芳名 (敬称略)」
L・A・東光会
野尻基金支援の会
故 横井桃枝 (ご遺族岡崎美子)
(一九二九・昭和4)
下河原り (一九四二・昭17)
飯笹敏子 (一九五三・昭28)
南 初子 (一九五三・昭28)
坂井恭子 (一九五七・昭32)
スバニオラ道子 (一九六〇・昭35)
鈴木洋子 (一九六〇・昭35)
田中久恵 (一九六四・昭39)
佐藤孝子 (一九八〇・昭55)
匿名 8名



二〇一一年度役員紹介

事務所職員
岩本あおい (宇野) 一九七八・昭53
中鉢ゆかり (瀬) 一九八三・昭58
塚本まり子 一九八六・昭61

会 長 中村千賀子 (藤木) 一九六四・昭39
副 会 長 長谷川充子 (平塚) 一九六五・昭40
副 会 長 岡田苑子 (神山) 一九六六・昭41
副 会 長 上原幸枝 (浅沼) 一九六七・昭42
副 会 長 緒方路子 (天野) 一九七〇・昭45
副 会 長 山田智子 一九七二・昭47
副 会 長 磯西弘子 (額田) 一九七五・昭50
副 会 長 元木幸子 (樋渡) 一九七七・昭52
副 会 長 西村弥生 (春日) 一九七八・昭53
副 会 長 海老原晴美 (高田) 一九八〇・昭55
副 会 長 大山ふみ子 (中村) 一九八五・昭60
副 会 長 小林真実 (松本) 一九八七・昭62
副 会 長 三笠知世 (藤山) 一九八八・昭63
副 会 長 早川真理 (林田) 一九九〇・昭65
副 会 長 山北千世 (岡野) 一九九〇・昭65
副 会 長 網蔵みゆき (梅岡) 一九七五・昭50



楓 祭
 10月21日(金)
 10月22日(土)
 今年も「東光会の部屋」
 (ティールーム)で皆様のお越し
 をお待ちしております。

東光会のつどい
 11月5日(土) 2:00～3:30

- 学年幹事の方は必ず1名以上ご出席ください。
- 会員の皆様お誘い合わせの上ご参加をお待ちしております。

詳しくはホームページをご覧ください。
 (お問い合わせ 東光会事務所まで)
 TEL 03(3583)0722 FAX 03(3583)0772 Mail tokokai@toyoeiwa.ac.jp

東光会 会費をお納めください!!

東光会は会員の皆さまからの会費により運営されております。近年滞納される方が多く、運営に支障を来し始めました。年会費は1,000円、まとめた納付も受け付けております。満75歳を迎える年度までお支払いいただきます。随時ご寄付も受け付けております。

支払い方法

- ・郵便振替・事務所への直接ご持参。
 - ・楓祭・東光会のつどい 他各行事でもお支払いいただけます。
 - ・口座自動振替(振替日は9月26日です)
 - ・2006年度より会費の振込先が郵便局だけになりましたのでご注意ください。但し自動振替をご利用の方は変更ありません。(注:自動振替手数料が¥200円に変更されました。)
- 領収証は5年間保管下さい。

お知らせ

○事務所執務時間が変わりました。(水曜日は休館となります。)

月、火、木、金 午前10時～午後4時30分
 夏休み 7月16日～8月31日 冬休み 12月21日～1月9日
 春休み 3月17日～4月5日

○軽井沢追分寮のご案内

期 間 5月9日～9月30日
 お問い合わせ

法人事務局 Tel 03-3583-3325 Fax 03-3584-5227

○野尻キャンプサイトのご案内

期 間 8月6日～8月18日
 お問い合わせ
 7月末まで 法人事務局 Tel 03-3583-3325 Fax 03-3584-5227
 8月より 現 地 Tel 026-258-2428

ガーネットハウス鳥居坂を
ご利用ください。

80名様までのクラス会、講習会などにご利用いただけます。
ケータリングの利用も可能です。

詳しくは同窓会事務所までお問い合わせください。

TEL/FAX 03(3583)0772
Mail dousokai-ght@toyoeiwa.ac.jp

東光48号をお読みくださり有難うございます。今年度も例年と変わらぬ「東光」を発行できました。ことに深く感謝しております。ご多忙の中、ご協力いただきました先生方・寄稿者の方々に、厚く御礼申し上げます。今、復興に向けて日本全体が一致団結し、力を合せています。私たち東光会会員も「敬神奉仕」のもとに心を一つにし、できることを一つずつ実行していきたいものです。

今回の特集では英和出身の「アスリート」の方々に寄稿していただきました。一途にスポーツに打ち込み、苦難の多い世の中に打気と希望を与えてくれます。これからの皆様のご活躍をお祈りしております。

編集後記

東日本大震災への義援金をお寄せください(受付は八月三十一日まで)。
 ・学院が銀行口座を設けております。詳しくは学院HP
http://www.toyoeiwa.ac.jp/topics/20110418151322_f.html
 をご覧ください。

口座：三菱東京UFJ銀行
 六本木支店
 普通預金 No.0124495
 名義：学校法人東洋英和女学院
 東日本大震災義援金
 ガク)トウヨウエイワジョガ
 クインヒガシニホンダイシ
 ンサイギエンキン
 ・ガーネットハウス鳥居坂玄関に
 募金箱がございます。